

# 円型水路改良工の作業手順

制定・改定日 2021.8.30

	内 容	留 意 事 項
準備工	作業内容の確認 作業人員の確認 保護具の確認	指示書の内容確認 安全打合せ書による。 作業別安全チェックシートの活用。
カッター工	コンクリートカッターで施工予定ラインに沿って円型水路横(舗装部)を切断する。	機械使用後は、水抜きを行い、歯止めを設置する。 ブレード付近には、手、足を近づけない。
はつり工	既設円型水路を油圧ブレーカーを装備したバックホー、ハンドブレーカー、ハンマードリル等を使用して、はつり取る。 はつり終了後は、綺麗に清掃する。 取り壊し検側を行う。	作業時は必ず飛散防止ネットを設置する。 保護具、防塵マスク・保護メガネ・耳栓を使用する。 ブレーカーの外れ止めを設置する。
円型水路設置工	所定の位置・深さに、クレーン仕様バックホーにて基礎コンクリートを設置する。 モルタルを敷設し、クレーン仕様バックホーにて円型水路を設置する。 勾配・通りを確認しながら設置していく。 漏水が起きないように連結ボルトにて確実に固定する。 バックホーにて所定の位置まで埋戻しを行う。	有資格者による、機械作業を行う。 重量物移動になる為、足等への落下、手詰め、足詰め等に十分注意する。 旋回範囲内への立ち入り禁止措置を行う。
舗装工	碎石にて、天端まで埋め戻しを行い、開放する。 ダンプトラックにて運搬したアスファルト合材を、レーキ等を使用し均一に敷きならす。所定の基層、表層厚にて施工を行う。 舗設温度にも注意する。	有資格者による、機械作業を行う。 材料、道具等をトラックに積み込み確認する。 敷均し温度175℃±10℃ トラックの誘導時は、誘導員を配置し周囲に十分注意をする。
後片付け	使用した道具、機材、余った材料等は、トラックに積み込み、最後に竹ぼうき等で清掃する。	使用した道具等は、現場に忘れ物が無いように確認する。 はつりかず、材料かすが無い様に、綺麗に清掃する。

**※現場で作業手順を変更する場合は作業を中止し作業責任者からメンテ名古屋担当者に報告・相談すること。**

注意事項 作業に合った保護具を使用する。  
各作業は、有資格者による作業を行う事。  
はつり、清掃時、の小石等の一般車への飛散には、十分注意を行う。  
火災防止処置を行う事。(消火器の設置)  
円形水路等、重量物移動の際は、足等への落下及び布設時の手足を挟まないように注意する。  
一人作業禁止

作業編成(標準)	人数	資機材
作業責任者	1名	コンクリートカッター・水タンク
現場監視員	2名	バックホー・ブレーカー・コンプレッサー
作業員	9名	ハンマードリル
		飛散防止ネット・角スコップ・竹ぼうき
		ミキサー・リボンロッド・スタッフ

## 安全器具・保護具確認

ヘルメット・反射(自発光)チョッキ・安全靴  
警笛  
保護手袋・防塵マスク・保護メガネ・耳栓